



思誠

謹んで

新年のお慶びを

申し上げます

校長 佐々木 謙二

今日から三学期のスタートです。
この三学期を大切に過ごしてほしいと願い、今日の
始業式には、次の様な話をしました。

始業式にあたり、今日もまた、中国の言葉を一つ紹
介したいと思います。

「戦国策」という古い本に、『行百里者 半於九十
（百里を行く者は、九十を半ばとす）』とあります。
「百里の道のりを行く者は、九十里までやって来た
時、これでやっと半分やって来た、と考えるべきであ
る」という意味です。百里の半分は五十里なのに、九
十里を半分の道のりだと考えなさいと言うのです。
計算が合いません。なのにあって「九十里まで来た
時、それが半分の道のりだ」と言うのですから、この
言葉は何か特別なことを私たちに教えようとしてい
るのだと思います。

実際、この言葉は、「物事は始めの方は易しいけれ
ど、終わりの方は難しいものだ」とか「物事の終わりが
近づいても、決して気を緩めることなく最後まで
努力しなければならぬ」とかいったことを教えてく
れるものです。この三学期が終われば、皆さんは一学
年ずつ大きくなります。その意味で、三学期は皆さん
が大きく飛躍するための準備期間、締めくくりの期
間なのです。

今年度は、創立百五十周年の節目の年として、思
誠の子の素晴らしさを、学校の内外に伝えてしまし
た。締めくくりがきちんとできてこそ、さすが思誠の
子ども達となります。

『行百里者 半於九十（百里を行く者は、九十を
半ばとす）』の言葉通り、気を緩めることなく、寒さ
に負けることなく、三学期を最後まで元気に勉強と
遊びに精を出して、みんなが「有終の美」を飾れるよ
うに頑張っていきましょう。

子ども達はそれぞれ新年に新たな夢や希望や期待
を抱き、登校してきています。気持ちのスイッチを切
り替えやすい新年という「節目」を大切にしながら、
本校教職員も、気持ちを新たに頑張っています。
今学期も皆様のご支援、ご協力をよろしく願ひ
します。

学校だより
令和5年
1月6日発行
新見市立
思誠小学校
Tel(0867)
72-0041



ホンモノに出会い学ぶこと
先月号でお話しした二つの「ホン
モノ」の出会いと、授業内容をご紹
介します。

トライフープ岡山来校

十一月二十九日(火)に、プロバス
ケットボールチーム「トライフープ岡
山」から選手、コーチ五名が来校し、
五・六年生を対象にバスケットボー
ル教室を行ってくださいました。

リズムに合わ
せた、楽しい準
備運動の仕方を
教わった後、一
つずつのバスケ
ットボールを手
に、ドリブルやシ
ュートの仕方を
学びました。
時折、さすが
プロだなと思え

る美技も交えな
がらの指導に、
子ども達も引き
込まれていきま
す。
教室の後半に
は、各学年の代
表チームとの試
合も行われ、点
が入る度に大き
な歓声が体育館
に響き渡りました。



感想発表で
は、これまで以
上にバスケット
ボールに興味を
持つことができ
、自分もプロ選
手を目指したい
と、声も上がり、
選手、コーチの
皆さんも大変喜
ばれていました。

ウナギ研究家

海部健三先生来校

十二月九日(金)には、中央大学法学
部教授でウナギ研究の第一人者である
海部健三先生が、四年生を対象に講演
を行ってくださいました。

演題は「新見でウナギの未来を考え
る」です。先生のお母様は本校の卒業生
であり、創立百五十周年に何かの形で
貢献したいという意向により、今回の講
演会が実現できました。

先生は学生時代、
四年生の国語教材
「ウナギの謎を追っ
て」の著者である塚
本勝巳先生の研究
室で学ばれ、ウナギ
の遡上データを収集
するため、岡山県児
島湾を拠点に住み
込みで研究に打ち
込まれていました。

ウナギの産卵場
所は、遙か南方のマ
リアナ海峽である
とされ、ふ化後は、
レプトセファルスと
いう葉様の稚魚か
らシラスウナギと
成長する間、海流
に流され日本近海
にたどり着きます。
そこから川を遡上
したものが「天然ウナギ」となるのです
が、残念ながら、現在
の河川には、あちこ
ちに堰があり、それ
を超えて遡上するこ
とはできにくいので
す。ウナギの耳石の
成分を分析すると、
この新見地区でとれ
るウナギには、海を
渡ってきた印がなく



すべて、シラスウナギ
を捕獲後、養殖の後、
放流されたものであ
ることがわかりまし
た。本当の意味での
「天然ウナギ」は、今や
河口付近でしかお目
にかけられないこと
を学ぶことができました。

ウナギの産卵場
所は、遙か南方のマ
リアナ海峽である
とされ、ふ化後は、
レプトセファルスと
いう葉様の稚魚か
らシラスウナギと
成長する間、海流
に流され日本近海
にたどり着きます。
そこから川を遡上
したものが「天然ウナギ」となるのです
が、残念ながら、現在
の河川には、あちこ
ちに堰があり、それ
を超えて遡上するこ
とはできにくいので
す。ウナギの耳石の
成分を分析すると、
この新見地区でとれ
るウナギには、海を
渡ってきた印がなく

1月の行事予定 生活目標「気持ちのよいあいさつや言葉づかいをしよう」

日	曜	行	事	日	曜	行	事
6	金	3学期始業式	11:40-斉下校 学校・学年だより配付	19	木	参観日	15:00-斉下校 ふれあいデー
				20	金	代表委員会	
10	火	安全の日	給食開始 ベルマークの日	23	月	入学説明会	
11	水	ふれあいタイム【ボランティア】		24	火	ベルマークの日	
12	木	学校集金口座振替日		25	水	安全の日	学校・学年だより配付
13	金	クラブ		27	金	クラブ（3年生クラブ見学）	
						1・2年	15:00下校
						3～6年	16:00下校
16	月	委員会					

論語コーナー

人の己を知らざるをうれえず
人を知らざるをうれうるなり

他人が自分をわかってくれないことよりも
自分が他者の価値を認めようとしないう
ことを心配しなさい



他人が自分を理解して
くれないという悩みは人
なら誰でも一度は持つ
ものですが、孔子はそれ
よりもまず、自分から他
者のよいところを知
る努力をすべきだと説いて
います。